

事業番号	15 09 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校の保健・安全に係る指導充実事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課	
		実施期間	H24 ～	E-mail	hokenko @ pref.nagano.jp	

1 現状と課題

・性情報の氾濫や危険ドラッグの社会問題化など、児童生徒を取り巻く社会環境が大きく変化している中、児童生徒が「性」や「薬物乱用」など健康課題について正しく理解し、行動できるようにすることが重要。
 ・児童生徒が犯罪や災害、交通事故等から身を守るため、自ら考えて危険を回避する能力を身に付ける必要がある。

2 事業目的

児童生徒が災害や事件・事故、性に関することなどの健康課題に関して、正しい知識を習得するとともに自らの判断により自己や他者を尊重し、健康で安全な生活を送るための資質・能力を養うため、指導する教員の指導力向上・環境整備を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①防災・防犯・交通安全対策による学校の安全確保

・学校の安全対策を充実させるため、防災・防犯・交通の各領域の安全教育研修会を開催
 ・防災訓練や危機管理マニュアル等の作成について、学校防災アドバイザーを学校へ派遣し、専門的見地から指導助言



ハザードマップの作成

②性・薬物乱用等に関する生徒への啓蒙と教員の指導力向上

・性の指導を充実させるため、学識経験者やLGBT当事者を招いた全県及びミニ研修会を開催するとともに、外部講師を学校へ派遣し研修会を実施
 ・薬物乱用防止教室の指導者養成講習会の開催及び養成した指導者による児童生徒を対象とした薬物乱用防止教室の開催



防災訓練の様子

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	防犯・防災・交通安全の3領域すべての安全教育研修会に3年間で参加した学校の割合	%	3.8	↘	2.6	↘	3.1	↗	22	未達成	R3年度とR4年度の参加実績から、残り1領域の学校は全学校、残り2領域の学校は半数が3領域すべてに参加すると仮定し、22%を目標とした。
②-1	性に関する指導研修会参加校の割合	%	66.2	↗	84.9	↗	87.9	↗	70	達成	R3年度の実績を上回る参加校を目指し、70%を目標とした。
②-2	薬物乱用防止教室を開催した県立高校の割合	%	73.7	↗	78.2	↗	89.0	↗	80	達成	R3年度の実績を上回る参加校を目指し、80%を目標とした。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-2①	災害に強い県づくりの推進											
1-6①	県民生活の安全確保											

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	7,454	100	7,554	3,171	4,532	2.9
R4年度	0	7,430	0	7,430	3,047	3,933	2.9
R3年度	0	7,552	18	7,570	3,213	3,030	2.9

事業番号	15 09 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校の保健・安全に係る指導充実事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課

7 主な取組実績と成果

① 防災・防犯・交通安全対策による学校の安全確保

- ・防災・防犯・交通安全の各領域の安全教育研修会を1回ずつ開催し、児童生徒の生きる力を育む学校安全教育に携わる教職員の指導力向上に取り組んだ。
- ・研修会では、防犯につながる実技の体験や、交通安全に関するグループワーク等を実施し、研修内容の充実を図った。
- ・学校アドバイザー13名を小中・養護28校に派遣し、防災訓練や危機管理マニュアルの作成等について指導助言を行った。

② 性・薬物乱用等に関する生徒への啓蒙と教員の指導力向上

- ・学識経験者やLGBT当事者を招き、全県の研修会を1回、学校の教職員が気軽に参加可能なWebでのミニ研修会を4回開催した。一部の研修内容を養護教諭研修会にも位置付けることで、より多くの教職員を対象とした研修の機会を設けた。
- ・性に関する指導外部講師を学校へ派遣し、教職員研修や学校保健委員会で教職員の資質向上に向けた講義を実施した。
- ・国の研究機関の専門家を講師とした薬物乱用防止教育研修会を1回開催した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	防犯・防災・交通安全の3領域すべての安全教育研修会に3年間で参加した学校の割合	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
<p>コロナウイルス感染症が5類に移行となり、参集による研修会に参加しやすい状況となったが、2領域または1領域に毎年参加している学校数が12%あることから、「3領域を3年間で」の認知度がまだ低いことが要因と考えらる。</p>							
指標②-1	性に関する指導研修会参加校の割合	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<p>養護教諭研究協議会と一部合同で開催したことで、より多くの教職員の参加が可能となり、参加校の割合の向上に繋がった。</p>							
指標②-2	薬物乱用防止教室を開催した県立高校の割合	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<p>コロナウイルス感染症が5類に移行し、コロナ禍以前のように外部講師を校内に招聘しやすくなったことが、目標達成に繋がった。</p>							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・性に関する指導に関わり、生命（いのち）の安全教育の着実な実施が求められているが、周知や研修体制が不十分である。
- ・性に関する指導について、学級担任や専科教員の研修会への参加が依然として少ない。（養護教諭の割合が高い）
- ・各校における薬物乱用防止教室の開催率が未だに100%に達していない。

(2) 事業改善の方策

- ・安全教育研修会の3領域への参加について、各種会議で周知するほか、教育事務所を通してチラシを配布し参加を促していく。
- ・性に関する指導者研修会をオンラインから参集に切り替え、より実感を伴った充実した研修となるようにする。ミニ研修会の位置づけを変更し、生命（いのち）の安全教育研修会を1回、性に関する指導・生命（いのち）の安全教育研修会を2回それぞれ開催し、研修開催時間を広げ、より多くの専門家による講義の時間を設定する。
- ・学校体育スポーツ研究協議会で、体育主任への呼びかけを行うとともに、教育事務所を通して研修会のチラシを学校訪問の際に配布し、教職員の意識向上を図る。
- ・各種研修会での行政説明の際に、「年に1回は薬物乱用防止教室を開催すること」の周知及び外部講師等の紹介を行う。

事業名	学校の保健・安全に係る指導充実事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課
-----	---------------------------	----	----------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	学校安全指導力向上事業	133 千円	251 千円	228 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	学校安全関係研修会の開催	直接	・学校における安全や危機管理に関係する専門的講習等を実施 防犯教育研修会（1回）、防災教育研修会（1回）、交通安全教育研修会（1回）、心肺蘇生法実技講習会（5回）、学校事故対応研修会（1回）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	学校安全総合支援事業	1,190 千円	1,718 千円	2,168 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	学校防災アドバイザーの派遣	直接	・学識経験者等を学校防災アドバイザーとして委嘱し、モデル校となる学校へ派遣。 学校防災アドバイザーは、学校に対して専門的な見地から防災訓練や危機管理マニュアルの点検に関する指導助言等を実施 28校に派遣	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	性に関する指導充実事業費	1,498 千円	1,538 千円	1,616 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	性に関する指導者研修等指導者の養成	直接	・学識経験者やLGBT当事者等を招き全県及びミニ研修会を開催 ・学校で行う性に関する指導の職員研修等へ外部講師を派遣 全県研修会1回・ミニ研修会4回開催、外部講師派遣20校	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	学校保健・安全研修会実施事業	209 千円	426 千円	520 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	薬物乱用防止教育研修会など学校保健・安全に関する研修会を開催	直接	・学校保健・安全教育担当教員の指導力向上のための研修会を開催 薬物乱用防止教育研修会を年1回開催	